

2019 年度 前期

留学生教育・支援センター

【上級 I】シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級 I 読解	火 1・火 2	松尾	... 1
上級 I 総合	月 5・木 3	永井	... 2
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムの各レベルについて			... 3

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日 1 校時・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 読解			
担当教員名	松尾まゆ美		e-mail	mtmym123@gmail.com
授業到達目標	意見文や説明文など、まとまった長さの文章を理解できる。また文意をとらえるだけではなく、他者と意見交換をしながら思慮を深め、日本語表現能力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

- 意見文、説明文などまとまった長さの文を読み、内容を理解する。
- 文法や語彙、漢字を学び、使えるように練習する。
- 作文、発表などで学んだことを使い、自分の伝えたいことを表現する。

第 1 週	4 月 16 日	オリエンテーション Unit1 「自己紹介と本当の自分」
第 2 週	4 月 23 日	Unit1 「自己紹介と本当の自分」
第 3 週	5 月 7 日	Unit3 「ジェンダーを考える」
第 4 週	5 月 14 日	Unit3 「ジェンダーを考える」
第 5 週	5 月 21 日	Unit4 「ことばと文化」
第 6 週	5 月 28 日	Unit4 「ことばと文化」
第 7 週	6 月 4 日	Unit5 「心と体のバランス」
第 8 週	6 月 11 日	Unit5 「心と体のバランス」
第 9 週	6 月 18 日	Unit6 「働くということ」
第 10 週	6 月 25 日	Unit6 「働くということ」
第 11 週	7 月 2 日	Unit8 「環境のためにできること」
第 12 週	7 月 9 日	Unit8 「環境のためにできること」
第 13 週	7 月 23 日	Unit9 「食の共同性」
第 14 週	7 月 30 日	Unit9 「食の共同性」
第 15 週	8 月 6 日	Unit10 「笑いのちから」

教科書・教材等	『新 中級から上級への日本語』(the Japan Times)
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 30% 各回のクイズ 40% 提出物 30%
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90% となる。

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日 5 校時・木曜日 3 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 総合			
担当教員名	永井 智香子		e-mail	nagai@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	1.長崎に関連のあるテレビ番組を教材として視聴することを通じて、日本語の語彙を増やす。 2. 長崎に関連のあるテレビ番組を教材として視聴することを通じて、現在住んでいる長崎についての知識を得る。 3. 日本映画を教材として視聴することを通じて、日本語の語彙を増やす。 4. 日本映画を教材として視聴することを通じて、日本社会や日本文化について知る。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む。

月曜クラスは長崎に関連のあるテレビ番組を教材として使います。最後に 1 回発表があります。

木曜クラスは日本映画を教材として使います。1 回発表があります。

第 1 週	4/8	月曜クラスオリエンテーション	4/11	木曜クラスオリエンテーション
第 2 週	4/15	映画 1 前半視聴	4/18	長崎関連テレビ番組視聴
第 3 週	4/22	映画 1 後半視聴、	4/25	小テスト長崎関連テレビ番組視聴
第 4 週	5/13	映画 1 発表	5/9	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 5 週	5/20	映画 2 前半視聴	5/16	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 6 週	5/27	映画 2 後半視聴	5/23	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 7 週	6/3	映画 2 発表	5/30	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 8 週	6/10	映画 3 前半視聴	6/6	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 9 週	6/17	映画 3 後半視聴	6/13	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 10 週	6/24	映画 3 発表	6/20	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 11 週	7/1	映画 4 前半視聴	6/27	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 12 週	7/8	映画 4 後半視聴	7/4	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 13 週	7/16	映画 4 発表	7/11	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 14 週	7/22	映画 5 前半視聴	7/18	小テスト、長崎関連テレビ番組視聴
第 15 週	7/29	映画 5 後半視聴	725	発表

教科書・教材等	プリント教材
成績評価の方法・基準等	月曜クラスと木曜クラスはそれぞれ別々に 100 点満点で評価します。その平均点がこのクラスの評価となります。詳しくはオリエンテーションで示します。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	(例) 私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.) により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90% となる。

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通参照)のレベル
初級 I	初級 前半	<p>初歩的な文法・漢字（100字程度）、語彙（800語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができる、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を150時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。 	N5	A1 A2-1
初級 II	初級 後半	<p>基本的な文法・漢字（300字程度）・語彙（1,500語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができる、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を300時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 	N4	A2-2
中級 I	中級 前半	<p>基本文法の応用ができ、漢字（700字程度）・語彙（3,500語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的な話題について、簡単な会話ができる、読み書きできる能力。日本語を400時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。 	N3	B1
中級 II	中級 後半	<p>やや高度な文法・漢字（1000字程度）・語彙（6,000語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的な話題について、会話ができる、読み書きできる能力。日本語を600時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。 	N2	B2
上級 I	上級 前半	<p>高度な文法・漢字（1,500字程度）・語彙（8,000語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を800時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 	N1	C1 C2
上級 II	上級 後半	<p>高度な文法・漢字（2,000字程度）語彙（10,000語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を1000時間以上学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 言葉を探しているという印象を与えることなく、流暢に、また自然に自己表現ができる。 社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 複雑な話題について明確で、しっかりと構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。 		

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級 I (5単位、週5コマ)	中級 I 読解 (2単位、週2コマ)	上級 I 読解 (2単位、週2コマ)
初級 II (5単位、週5コマ)	中級 I 聴解 (1単位、週1コマ)	上級 I 総合 (2単位、週2コマ)
	中級 I 会話 (1単位、週1コマ)	上級 II 総合 A (2単位、週2コマ)
	中級 I 作文 (1単位、週1コマ)	上級 II 総合 B (2単位、週2コマ)
	中級 I 漢字 (1単位、週1コマ)	上級 II 総合 C (2単位、週2コマ)
	中級 II 読解 (2単位、週2コマ)	上級 II 総合 D (2単位、週2コマ)
	中級 II 聴解 (1単位、週1コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1単位、週1コマ)
	中級 II 会話 (1単位、週1コマ)	
	中級 II 作文 (1単位、週1コマ)	
	中級 II 漢字 (1単位、週1コマ)	
	中級 総合 A (1単位、週1コマ)	
	中級 総合 B (1単位、週1コマ)	

*週1コマとは、1週間に90分の授業を1回行うことを目指します。

(本ページのみ: 2015/07/30 作成, 2018/01/26 更新)